

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山岸和美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3112
<b>事務事業名</b>	4036 車両管理事業											
<b>所 属</b>	050100 総務部・総務課											
<b>施 策</b>	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	020106 総務費・総務管理費・車両管理費										
	<b>事業</b>	010000 車両管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
集中何里車両の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全な公務の執行を図る。						集中管理車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	平成22年度から車両の傷の有無を確認するよう使用簿を変更し、職員の意識が変化している。須坂保育園建設工事に伴い、集中管理車両が保健センター下駐車場から多目的（防災）広場へ移動したことに伴い、駐車場での事故件数が1件減り、2件となった
平成24年度 実績	平成25年度 実績
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少を図った。また、防災活動センターを新築し、1階に道路河川課車両を移動するため、工期中の駐車場の管理、車両移動を行った。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少を図った。防災活動センターが完成し、各課保管車両も含め公用車駐車場の移動が終了したことから、保管車両の有効活用、台数の減を呼びかけた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。公用車車体への市PR広告を企業等広告と併せて実施する。

指標名	車両損傷件数						
算式	実績					単位	台
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	14	12	10	8	6	
	実績	14	6	16	13		
指標選定の理由	公用車を適切に使用し、安全運転を行ううえでの指標となるため。						
最終年度目標の根拠	損傷車を毎年2台ずつ減らしていくため。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決算	平成27年度 予算
事業費		9,552	10,960
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,552	10,960
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,552.0	10,960.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,551	燃料費3,121、修繕料、消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,001	手数料(車検、点検)1,001 有料道路通行料 2,599 備品購入費 1,098 など

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,626	燃料費 3,756、修繕料 460、消耗品費 410
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,334	手数料(車検、点検) 1,248 有料道路通行料 2,500 備品購入費 1,200 など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各種業務の機動的な遂行のため必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	車両使用へのニーズが高まり、車両不足が課題であった。そこで、各課所有の車両すべての貸し出しの可否について確認し、役所全体で所有している車両を対象とした予約を可能とするシステムをつくった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	限られた台数の車両の有効活用を図ることで車両不足を解消した。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

車両の損傷事故件数が多い。市は率先して安全運転に努める必要がある。職員の意識改革、意識の向上を促す取り組みが必要。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>公用車による自損事故等が目立つので、啓発活動等引き続き進める必要がある。燃料費の予算が増加しているので、電気自動車など、車両選定など今後の対策を考える。</p>		<p>事故防止の面から「一声かける」など安全運転管理に更に務めてほしい。 公用車の有効利用のため、車両の空き時間が確実に分かる仕組みが必要である。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性
外部評価コメント